

産業建設委員会

令和5年9月14日(木)
午前10時～時分
全員協議会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長
沖田委員、串崎委員、上野委員、布施委員、牛尾委員

【議長・委員外議員】

【請願紹介議員】西田議員

【執行部】砂川副市長

(地域政策部) 田中地域政策部長、岸本政策企画課長

(産業経済部) 佐々木産業経済部長、大屋商工労働課長、佐々木農林振興課長、
力石観光交流課長

(都市建設部) 戸津川都市建設部長、西谷建設企画課長、皆尾建設整備課長、
倉本維持管理課長、佐古建築住宅課長

(金城支所) 邊金城支所長、河内産業建設課長

(弥栄支所) 馬場弥栄支所長、三浦産業建設課長

【事務局】大下書記

議 題

1 請願審査

(1) 請願第7号 森林環境譲与税の譲与基準見直しを求める意見書の提出について

2 陳情審査

(1) 陳情第101号 湯屋温泉供給料金の引き下げの陳情について

3 議案第48号 浜田市雇用促進住宅条例を廃止する条例について

4 議案第51号 財産の処分について(雇用促進住宅)

5 議案第52号 工事請負契約の変更について(市道日脚治和線(周布橋)既設橋梁撤去工事(その2))

6 議案第53号 市道路線の廃止について(美川南2号線外)

7 議案第54号 市道路線の認定について(浜田567号線外)

8 議案第59号 工事請負契約の締結について(市道日脚治和線(周布橋)新設橋梁下部工事)

9 所管事務調査

(1) ゆうひパーク浜田の状況について

【商工労働課】

(2) 市道外側線等の予算執行状況について

【維持管理課】

10 執行部報告事項

(1) 浜田市総合振興計画、定住自立圏共生ビジョンの進捗管理について

【政策企画課】

(2) 三桜酒造跡地における公共活用検討状況について

【商工労働課】

(3) 令和5年8月17日の豪雨による被災状況について(農林関係)

【農林振興課】

(4) 富岡八幡宮での石見神楽上演について

【観光交流課】

(5) 浜田市ふるさと体験村施設の状況について

【弥栄支所産業建設課】

(6) その他

(配付物)・漁業別水揚げについて

11 その他

12 【取組課題】これまでの取組の総括について(委員間で協議)

令和5年8月18日

浜田市議会 議長 笹田 卓 様

請願者 浜田市黒川町 [REDACTED]
一般社団法人 鳥根県木材協会 浜 [REDACTED]
支部長 浦田明彦

紹介議員 西田清久 [REDACTED]
串崎利行 [REDACTED]

森林環境譲与税の譲与基準の見直しに関する請願書

【請願の要旨】

森林環境譲与税の譲与基準の見直しについて、国に対し意見書の提出を求める

【理由】

森林環境譲与税は、森林経営管理制度とともに令和元年に導入され、鳥根県内においても、間伐等の森林整備や路網整備、高性能林業機械の導入、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進、市町村等の推進体制の強化に活用されており、行政と民間が一体となって取り組んでいる「伐って使って植えて育てる」循環型林業の推進のための原動力となっています。

令和4年度の鳥根県内の執行状況は、県市町村とも単年度譲与額を大きく超える額を予算化して執行されており、令和元年度からの累計でも高い執行率となっています。

現在、国産材を使っていこうとする動きが強まっており、これを機に森林・林業・木材産業を成長させ、山村地域を支える産業として発展させることが我々の使命であると考えています。

つきましては、今後とも、山村地域の活性化のための貴重な財源である森林環境譲与税をより一層有効に活用し、循環型林業を実現させていくために、下記事項について国に対して意見書の提出を求めます。

記

森林の整備と森林資源の活用を一体的に進める循環型林業を一層推進するため、森林環境譲与税については、森林の多い地域への配分を高めること



(案)

(別紙)

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

我が国の森林は国土の7割を占め、地球温暖化防止や国土保全、水源涵養等の公益的機能を有しており、国民全体に様々な恩恵をもたらしている。

これらの機能を十全に果たすべく、間伐などの森林整備を着実に実施していくための財源として令和元年度に森林環境譲与税が創設された。

島根県内では、森林環境譲与税を間伐等の森林整備や路網整備、高性能林業機械の導入、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進、市町村等の推進体制の強化に活用しており、行政と民間が一体となって取り組んでいる「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の定着・拡大により、林業の振興と森林保全の両立を図るべく取組を推進している。令和4、5年度の予算額は当年度譲与額を上回る額が計上されており、今後も森林の多い当県の市町村が必要な森林整備等を一層推進するためには、さらなる財源が必要となっている。

森林整備及び森林資源の活用にあたっては、人工林に隣接する天然林も一体的に整備・活用を図っており、私有林人工林に限らず天然林も含めた財源の確保を必要としている。

今後も、山村地域の活性化のため、また必要な森林整備等を推進していくためには、今の譲与基準のままでは十分対応できない状況である。

以上のことから、下記の実現を強く要請する。

記

- 1 森林の整備と森林資源の活用を一体的に進める循環型林業を一層推進するため、森林環境譲与税については、森林の多い地域への配分割合を高める見直しを行うこと。
- 2 人工林に隣接する天然林の森林整備及び森林資源の活用を推進するため、私有林人工林面積とされている算定基準に私有林天然林面積を含めること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和5年 月 日

〇〇議会

(提出先)

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
農林水産大臣
総務大臣

陳情番号	101
付託先委員会	産業建設委員会
審査結果	

令和5年8月10日

浜田市議会議長
笹田 卓 様

住 所 浜田市金城町下来原 [REDACTED]
(団体名) 株式会社 ケイ・エフ・ジー [REDACTED]
(代表者) 代表取締役社長 戸津川 隆彦 [REDACTED]

湯屋温泉供給料金の引き下げ の陳情について

【陳情の趣旨】

1 願意

浜田市に対して湯屋温泉供給料金の引き下げを求める。

2 理由

昨今の世界情勢の影響で、物価高騰による製造原価値上がり分を大手企業への卸価格に転嫁できない状況となっており、今後の企業存続と安定経営に向け温泉供給料金引下げを求める。

また、国連が提唱する持続可能な開発目標SDGsの環境配慮型製品の提供として、100%リサイクル原料を用いたペットボトル導入に向け、原料価格値上げに対応するためにも料金引き下げが必要である。



雇用促進住宅の処分に係る特約事項等について
（「議案第 51 号 財産の処分について」関連資料）

1 雇用促進住宅の経緯

H22 年度	雇用・能力開発機構から取得
H23 年度	浜田市雇用促進住宅として管理開始
H28 年度	浜田市公共施設再配置計画で民間譲渡方針
R3 年 7 月	民間譲渡検討委員会設置、検討開始
R4 年 8 月	民間譲渡検討委員会譲渡条件案を報告
R4 年 11 月	入居者説明会
R5 年 4～6 月	一般競争入札、市有財産売買仮契約締結

2 契約の相手方

株式会社第一ビルサービス（広島県広島市中区大手町 5-3-12）
代表取締役 杉川 聡

3 売買契約の特約事項

以下の特約を付して仮契約を締結しています。

特約の期間は令和 16 年 3 月 31 日までの 10 年間です。

(1) 用途指定

売買物件を賃貸住宅として使用しなければならない

(2) 家賃等の据置

既入居者の家賃、駐車料金、共益費は裏面 4(2)(3)のとおり扱う

(3) 転売等の禁止

第三者への所有権移転は原則禁止する

3 今後のスケジュール

R5 年 9 月	議案上程（財産の処分について） （議決後、市有財産売買本契約）
R5 年 10 月	各団地自治会役員への説明・協議
R5 年 10 月～3 月	入居者説明会、引継手続
R6 年 4 月 1 日	所有権移転、民営化

（裏面へ）

4 浜田市雇用促進住宅の概況

(令和5年8月末時点)

(1) 住宅の構造、入居状況等

名称	構造	建設年度	戸数	入居戸数	入居率
小福井団地 1号棟	鉄筋コンクリート造 5階建	S46	40戸	33戸	87.5%
小福井団地 2号棟		S48	40戸	37戸	
内田団地 1号棟	鉄筋コンクリート造 5階建	S52	40戸	27戸	63.8%
内田団地 2号棟		S52	40戸	24戸	
国府団地 1号棟	鉄筋コンクリート造 5階建	H2	40戸	19戸	53.8%
国府団地 2号棟		H2	40戸	24戸	
金城団地 1号棟	鉄筋コンクリート造 5階建	S55	40戸	15戸	38.8%
金城団地 2号棟		S55	40戸	16戸	
合 計			320戸	195戸	60.9%

(2) 家賃（月額）

名称（間取り）	家賃		
	1～2年目	3～4年目	5年目～
小福井団地 1号棟（2K）	15,200円	18,200円	21,300円
小福井団地 2号棟（2K）	17,100円	20,500円	23,900円
国府団地 1号棟（3DK）	31,100円	37,300円	43,500円
国府団地 2号棟（3DK）	31,100円	37,300円	43,500円
内田団地 1号棟（2DK）	20,300円	24,400円	28,400円
内田団地 1号棟（3DK）	24,900円	29,900円	34,900円
内田団地 2号棟（2DK）	20,300円	24,400円	28,400円
金城団地 1号棟（3DK）	25,400円	30,500円	35,600円
金城団地 2号棟（3DK）	25,400円	30,500円	35,600円

(3) 駐車料金・共益費（月額）

名称	駐車料金	共益費
小福井団地	2,750円	1,250円
国府団地	第1駐車場	800円
	第2駐車場	
内田団地	2,750円	800円
金城団地	2,200円	800円

令和 5 年 9 月 14 日
産業建設委員会資料
都市建設部維持管理課

美川南 2 号線

延長 577.9m

幅員 2.3m~4.1m

美川南 4 号線

延長 577.9m

幅員 2.3m~4.1m

写真①



写真②



写真③



写真④



終点

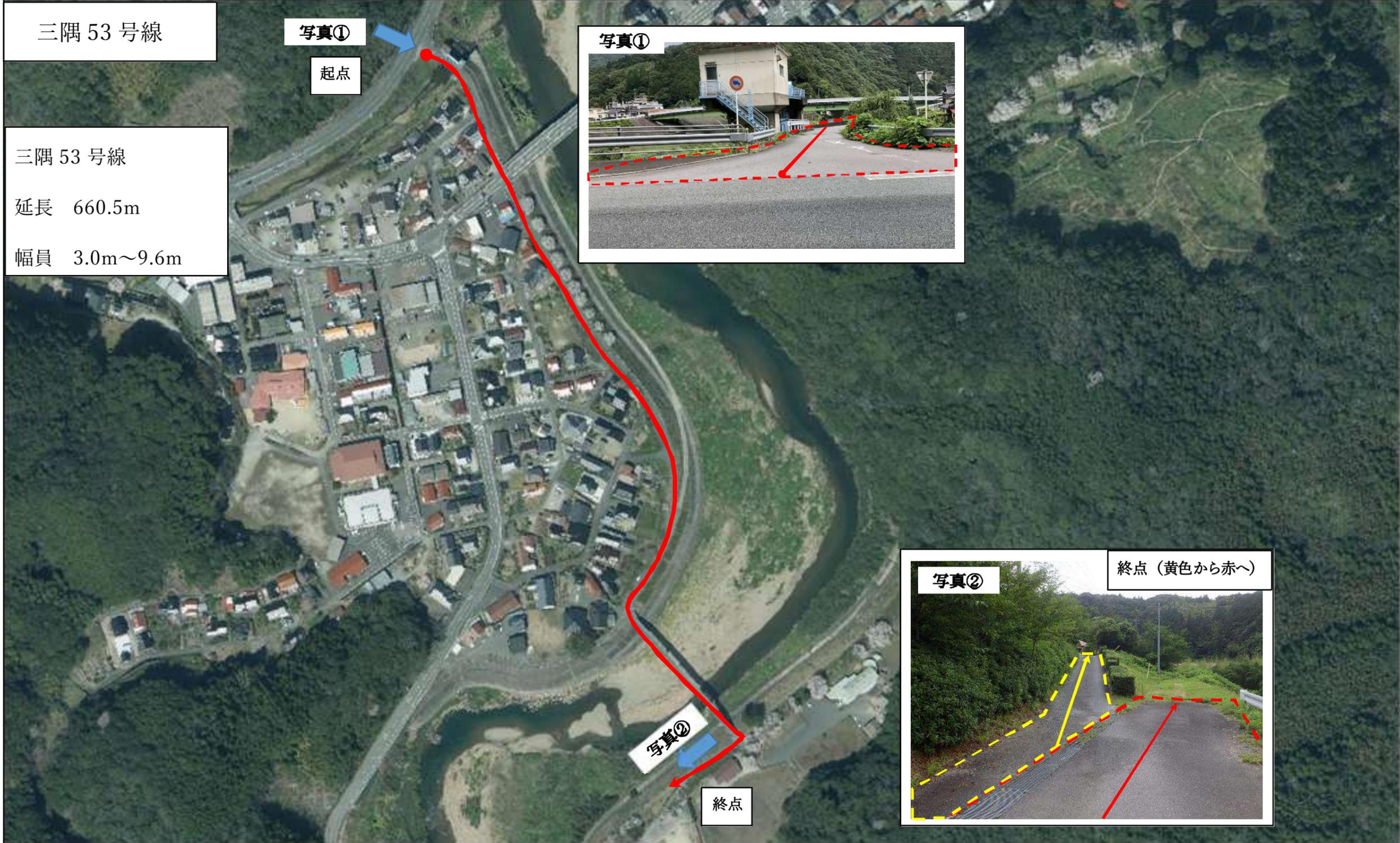
美川南 2 号線

起点

美川南 4 号線

終点

1
2
3
4



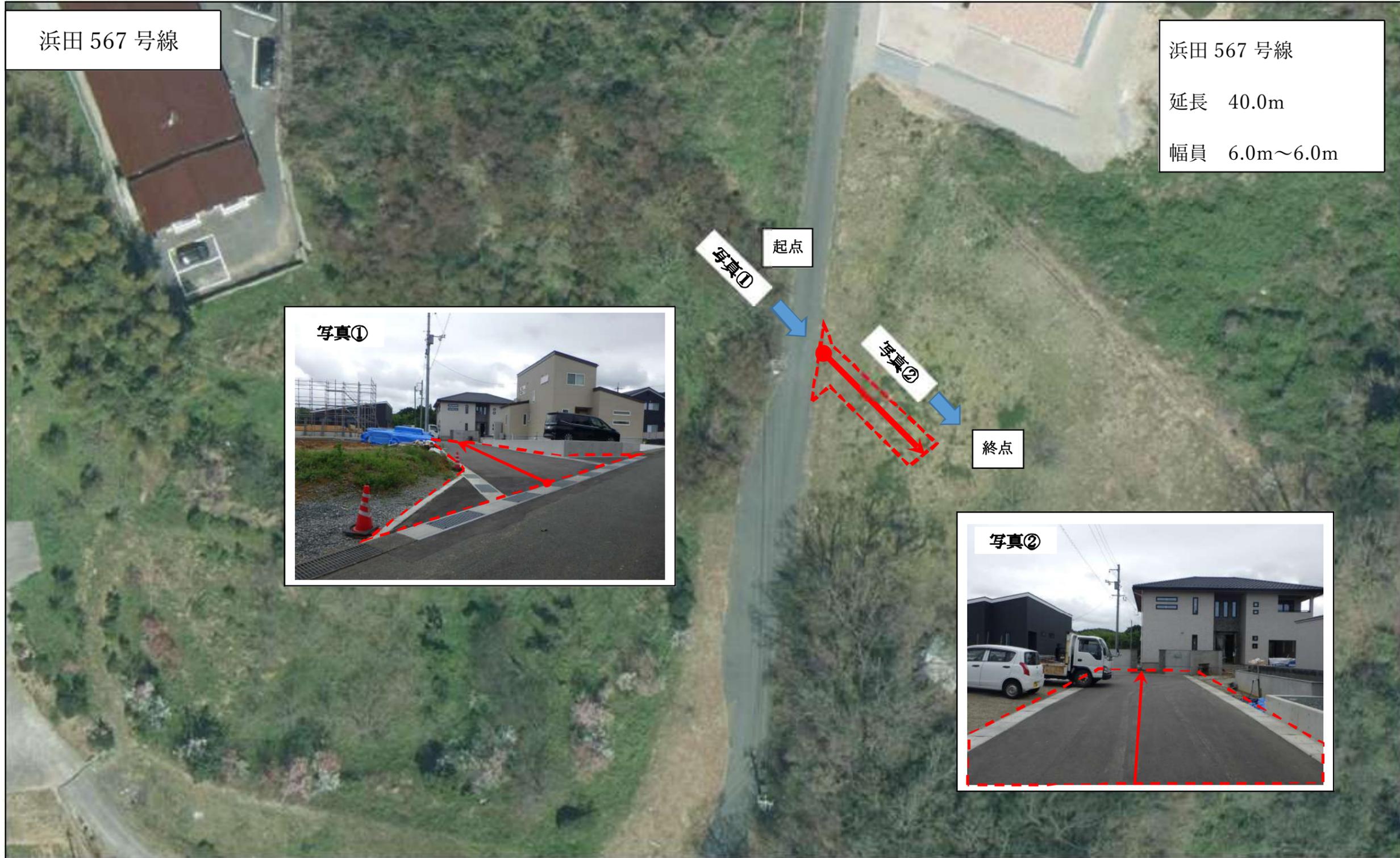
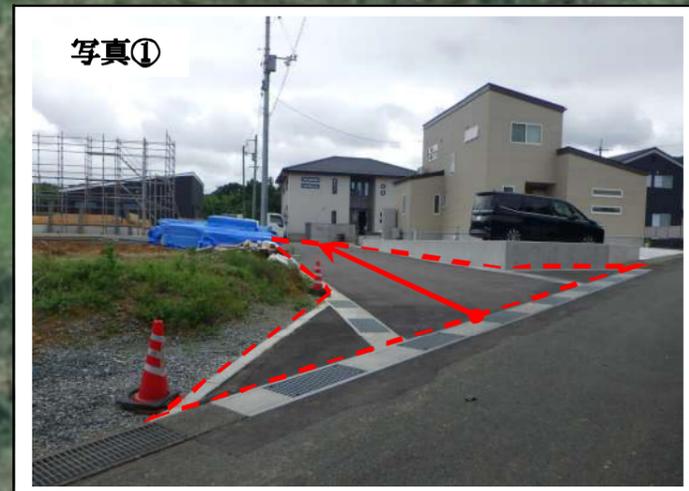
令和 5 年 9 月 14 日
産業建設委員会資料
都市建設部維持管理課

浜田 567 号線

浜田 567 号線

延長 40.0m

幅員 6.0m~6.0m



ゆうひパーク浜田の状況について

1. 第 32 期（令和 5 年度）の状況について

(1)経営状況について

「道の駅」ゆうひパーク浜田は、令和 5 年 4 月以降、市有財産無償貸付及び道の駅機能維持等に関する覚書によりゆうひパーク浜田株式会社が管理運営をしています。4 月以降、毎月の経営状況についての報告をいただいております。第一四半期の売上高は前年度比 7.5%増となっておりますが、月別・部門別売上状況等の詳細については当該法人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがある情報であることから、浜田市情報公開条例第 7 条第 1 項第 3 号に基づき公表はできません。

(2)入込客数について

令和 5 年 4 月から 7 月までの入込客数については、対前年同期比 101.5%で、徐々にではありますが回復傾向となっております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響が始まる令和元年度以前の入込客数には戻っていない状況です。

	4～7 月合計	R5 同期間との比較
平成 30 年度	97,911 人	78.1%
令和元年度	93,105 人	82.1%
令和 2 年度	45,524 人	167.9%
令和 3 年度	67,187 人	113.8%
令和 4 年度	75,294 人	101.5%
令和 5 年度	76,434 人	-

2. リニューアルに向けた状況について

令和 8 年 4 月のリニューアルオープンに向け、次期運営事業者等を選定するための事業者選定支援等アドバイザー業務委託の提案事業者を募集しました。先般、プレゼンテーション審査を行いまして、最優秀提案事業者を選定し、契約締結の協議を進めているところです。契約締結以降は、①市民・利用者の意見聴取、②サウンディング型市場調査を踏まえ、令和 6 年度以降、次期運営事業者の公募型プロポーザルを実施します。

市道外側線等の予算執行状況について

外側線等（外側線、中央線）の修繕状況

	年度	路線数	道路延長 (m)	総施工数量 (m)	予算執行額 (円)
浜田	R4	10	2,628	4,605	5,332,000
	R3	4	1,328	2,881	2,777,000
	R2	18	2,349	2,510	2,503,500
	計	32	6,305	9,996	10,612,500
金城	R4	8	3,500	7,179	3,380,300
	R3	1	240	716	511,500
	R2	0	0	0	0
	計	9	3,740	7,895	3,891,800
旭	R4	5	1,439	2,681	889,900
	R3	5	1,627	2,869	1,273,400
	R2	3	2,760	2,760	1,387,900
	計	13	5,826	8,310	3,551,200
弥栄	R4	2	609	1,415	492,200
	R3	3	397	1,003	484,100
	R2	1	146	455	351,600
	計	6	1,152	2,873	1,327,900
三隅	R4	6	1,739	3,478	2,445,300
	R3	2	1,623	3,246	2,337,500
	R2	3	1,710	3,816	3,073,400
	計	11	5,072	10,540	7,856,200
合計	R4	31	9,915	19,358	12,539,700
	R3	15	5,215	10,715	7,383,500
	R2	25	6,965	9,541	7,316,400
	計	71	22,095	39,614	27,239,600

※道路改良による新設は含まない。

※総施工数量は、外側線の左右や中央線を計上している。